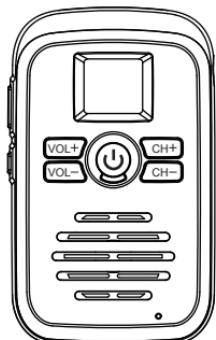


**NEXTEC**

特定小電力トランシーバー  
**NX-MINI**

取扱説明書



この度、NEXTEC NX-MINIをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。  
お読みになった後は、大切に保管し、おわかりにならないことがあった時に、  
再度お読みください。

このトランシーバーは、日本国内専用機器ですので、外国ではご使用できません。

株式会社 エフ・アール・シー



## 目次

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 安全上のご注意.....              | 3  |
| 通話チャンネルについて .....         | 6  |
| NX-MINI の便利な機能.....       | 6  |
| 準備 .....                  | 7  |
| 同梱品の確認.....               | 7  |
| 電池の取り付け .....             | 7  |
| 充電.....                   | 8  |
| ベルトクリップの取り付け .....        | 9  |
| ネックストラップの取り付け .....       | 9  |
| イヤホンマイク（オプション）の取り付け ..... | 9  |
| 各部の名称.....                | 10 |
| 通話のしかた .....              | 11 |
| 電源を入れて音量を調節する .....       | 11 |
| チャンネルを選択する .....          | 11 |
| 通話する .....                | 11 |
| 電源を切る .....               | 11 |
| キーロック .....               | 12 |
| チャンネルスキャン機能.....          | 12 |
| グループモード機能.....            | 13 |
| アラーム機能.....               | 14 |
| フラッシュライト機能 .....          | 14 |
| モニター機能.....               | 14 |
| FM ラジオ機能 .....            | 15 |
| バッテリー残量表示.....            | 15 |
| 故障かな？と思ったら .....          | 16 |
| 仕様 .....                  | 17 |





## 安全上のご注意

この「安全上のご注意」には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

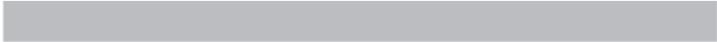
ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

|  |    |  |
|--|----|--|
|  | 危険 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う危険性が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。    |
|  | 警告 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。               |
|  | 注意 | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

### 危険

- バッテリーの取り扱いについて
- 使用にあたり、指定のバッテリー以外は使用しないでください。液漏れ、発火、破裂させる原因となります。
- 充電温度範囲は5～40℃です。この温度範囲以外では、充電しないでください。
- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に投入したり、加熱したり、はんだ付けなどしないでください。
- 電池から漏れた液が目に入った時は、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けて下さい。
- 液が皮膚や衣服に付着した時は、皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 電極をショートさせないでください。





## 警告

### ■ 使用環境・条件

- 交通安全上、運転しながらの交信はお止め下さい。
- 電子機器、特に医療機器の近くでは使用しないでください。
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内では、使用しないでください。
- 海外では使用できません。

### ■ 充電器の取り扱いについて

- AC100V 以外の電圧で使用しないでください。
- タコ足配線はしないでください。加熱・発熱の原因になります。
- 濡れた手で AC コードのプラグに触れたり、電源コードを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
- 水をかけたり、水が入らないように使用してください。
- 直射日光を避けて風通しのよい状態でご使用ください。
- この製品は調整済みです。分解・改造をしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 充電端子をショートさせないでください。
- 長期間使用しない時は、バッテリーを本体から外して常温で保管してください。

## 注意

### ■ 使用環境・条件

- テレビ、ラジオ、ストーブ、電子レンジなどのそばで送信しないでください。
- 車内のダッシュボードやヒーターの吹き出し口など異常に温度が高くなる場所にはおかいでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。





## ■ 保守・点検

- お手入れの際は、電源スイッチを切り、バッテリーを外して保管してください。
- 水滴が付いたら、乾いた布で拭き取って下さい。汚れのひどい場合は、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。

## [免責事項]

お客様または第三者が本製品の誤使用、誤設定、使用中に発生した故障、誤動作、不具合あるいは天災や停電等の外部的な要因によって、情報・通信等の機会を逸したために生じた損害等につきまして、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ご注意

### 電波法に関する注意

\*下記の内容は電波法により禁止されています。

- 本機裏面の技術適合証明ラベルを剥がしての使用
- 本機を分解、改造しての不正使用
- 他人の通話を聞いてこれを人に漏らす行為
- 航空機など、使用を認められていないところでの使用

上記の内容をよく理解して、正しくご使用ください。

## ご使用上の注意

- 本機は、特定小電力トランシーバー、9ch 機、11ch 機、20ch 機のトランシーバーと通話することが可能です。現在お手持ちのトランシーバーにグループモードが無い場合は、本機のグループモードはオフでご使用ください。
- 通話できる距離は、環境により大きく変わります。目安としまして、見晴らしの良い郊外でおよそ 800m、市街地でおよそ 80m です。建物などの障害物により通話距離が大きく左右されます。
- 本機は防水構造になっておりません。雨の日や水がかかるようなところでの使用は、本体が濡れないように注意して使用してください。
- テレビ、ラジオ、パソコン、蛍光灯のすぐそばでは、電波障害を与えたり、受けたりすることがありますので、これらのものから離れて使用してください。





## 通話チャンネルについて

既に本機以外のトランシーバーをお持ちの場合、通話チャンネルを合わせることで、本機と交信することが可能です。

通話チャンネル適合表

| 本機および多数の<br>20ch 機 | 11ch 機 | 9ch 機 | 他表示タイプの<br>20ch 機 |
|--------------------|--------|-------|-------------------|
| ch1                | ch1    |       | ch1               |
| ch2                | ch2    |       | ch2               |
| ch3                | ch3    |       | ch3               |
| ch4                | ch4    |       | ch4               |
| ch5                | ch5    |       | ch5               |
| ch6                | ch6    |       | ch6               |
| ch7                | ch7    |       | ch7               |
| ch8                | ch8    |       | ch8               |
| ch9                | ch9    |       | ch9               |
| ch10               | ch10   |       | ch10              |
| ch11               | ch11   |       | ch11              |
| ch12               |        | ch1   | ch h1             |
| ch13               |        | ch2   | ch h2             |
| ch14               |        | ch3   | ch h3             |
| ch15               |        | ch4   | ch h4             |
| ch16               |        | ch5   | ch h5             |
| ch17               |        | ch6   | ch h6             |
| ch18               |        | ch7   | ch h7             |
| ch19               |        | ch8   | ch h8             |
| ch20               |        | ch9   | ch h9             |

## NX-MINI の便利な機能

アンテナレス：突起の無いすっきりボディ。

キーロック：アクシデントで何かキーが押されても、キー入力をキャンセルしてくれます。

モニター機能：送信前に他の人が送信していないか、確認できます。

グループ機能：38個のグループで、通話先を限定することが出来ます。



## 準備

### 同梱品の確認



本体



電池パック



充電器



AC アダプター



ベルトクリップ  
とネジ



ネックストラップ



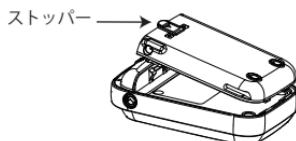
取扱説明書



### 電池の取り付け



本体裏側の凹みに電池パック下部の爪を差し込み、本体側に電池パックを押して、電池パック上部のストッパーを下げながら取り付けて下さい。



電池パックを取り外す際は、上部のストッパーを押し下げながら取り外してください。

#### 注意

ストッパーを押し下げる際は、安全のために硬貨などを使用してください。指先で押し下げると、爪を傷める可能性があります。





## 電池に関する注意

- 火の中に投げ込まないでください。
- ショート（短絡）、分解、加熱をしないでください。
- 長時間使用しない時は、電池パックを取り外してください。
- 電池パックの電極（上部及び背面）は、金属などでショート（短絡）させないでください。

## 充電

1. はじめて使用されるときは充電をしてください。
2. あらかじめ充電器と AC アダプターを接続し、AC アダプターを AC コンセントに差し込んでください。
3. 本機に電池パックをセットした状態で、充電器に差し込んでください。充電器に差し込む際には、本機の電池パックのスリットと充電器の突起を合わせて下さい。
4. 充電時は赤のインジケーターが点灯し、充電が終わると緑色の点灯に変わります。およそ 3 時間で満充電になります。
5. 充電が終わったら、本機を充電器から抜いて下さい。

\*バッテリーの充電は、バッテリーパックだけでも可能です。

\*電池パックの充電ジャックに A C アダプタのプラグを差し込んでも充電可能です。

### 注意

AC アダプターをコンセントに差さないで充電器に立てる、または AC アダプターのプラグをバッテリーパックの充電ジャックに接続すると、LED が点灯しますが故障ではありません。



インジケーター



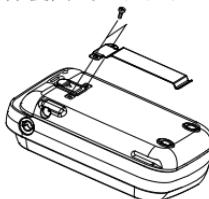
\*バッテリーパックの充電





## ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップは、本体裏面（バッテリーパック）にネジ止めしてください。



取り外す際は、ネジを外してベルトクリップを取り外してください。

## ネックストラップの取り付け

本体上部のストラップホールにネックストラップの紐を通し、通したひもの輪にストラップの端を通します。



紐にストラップ全体を潜らせて、引き絞ってください。

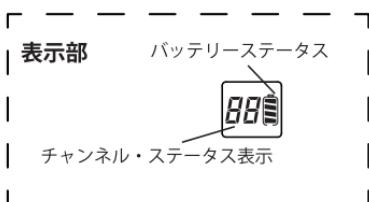
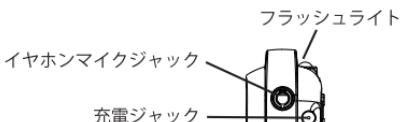
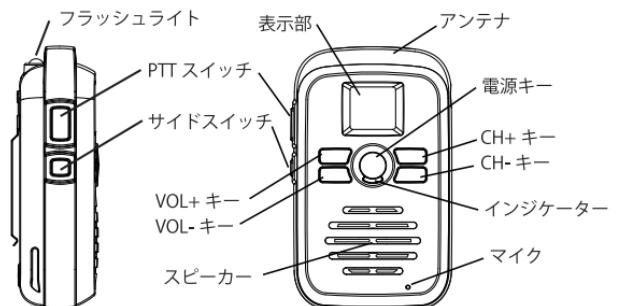
## イヤホンマイク（オプション）の取り付け

本体のイヤホンマイクジャックに、イヤホンマイクのプラグを差し込みます。



## 各部の名称

### 各部の名称





## 通話のしかた

相手側のトランシーバーと同一のチャンネルに合わせ、送信・受信を交互に切り替えながら通話します。まず、2台で通話テストを行ってください。

### 電源を入れて音量を調節する

“電源”キーを1秒以上押して電源を入れると、チャンネルと電池アイコンが表示されます。左側“VOL+”/“VOL-”キーを押して音量を程よい位置に調整してください。

音量は0から8まで9段階の選択ができます。数字が大きくなるほど音量が大きくなります。0を選択すると音が出なくなります。

### チャンネルを選択する

“CH+”/“CH-”キーを押して希望のチャンネルを選択します。9チャンネル機や11チャンネル機との交信は、「通話チャンネルについて」をご参照のうえ、選択してください。



### 通話する

“PTT”スイッチを押すと送信を開始します。送信すると電源キーの下にあるインジケーターが赤く点灯します。“PTT”スイッチを離すとLEDが消灯し受信待ち受け状態に戻ります。

相手からの信号を受信するとLEDが緑に点灯しスピーカーから相手の音が聞こえます。

### 電源を切る

電源が入っている時に、“電源”キーを3秒以上押し続けると電源が切れます。





## キーロック

間違えてキーを押さないように、キーをロックすることが出来ます。

1. “電源”キーを短押しすると PF と表示されます。
2. PF が表示している間に “VOL+” キーを押すとビープ音が一回鳴ってキーロックが動作します。

キーロック中は “VOL+” / “VOL-” キー、 “CH+” / “CH-” キーはロックされて動作しません。キーロック中にこれらのキーを押すと、エラービープ音が鳴ります。“PTT” スイッチ、“サイド” スイッチ、“電源” キーは動作可能です。



### 注意

- キーロック中は画面やインジケーターでの表示はありません。
- キーロック中に電源を入れなおしても、キーロックは解除されません。



キーロックを解除するには、“電源”キーを短押しして PF 表示中に “VOL-” を押します。ビープ音が 2 回鳴ってキーロックが解除されます。

## チャンネルスキャン機能

通話しているチャンネルを自動的に探します。

1. “電源”キーを 2 回短押しした後に、“VOL+” / “VOL-” キーを押して SC を表示させます。
2. もう一度“電源”キーを短押しします。
3. “サイド”スイッチを押すとチャンネルスキャンが開始します。スキャン中は LED が緑点滅となります。
4. 受信チャンネルを見つけると、そのチャンネルで一旦止まります。またそのチャンネルで交信もできます。





5. 受信や交信が終わり、そのまま約5秒間経過すると再びチャンネルスキャンが始まります。

スキャンを終了する場合、再度“サイド”キーを押してください。スキャンが終了するとLEDの緑点滅は消えます。

## グループモード機能

同じチャンネルを他のグループと同時に使用する場合、お互いの通話が混じり合って通信しづらくなります。このグループ機能を使用することにより、同じグループでのみ快適に通話をすることが出来ます。

1. “電源”キーを2回短押しした後に、“VOL+”/“VOL-”キーを押してCtを表示させます。

38

2. もう一度“電源”キーを短押しします。
3. “VOL+”/“VOL-”キーで1～38のグループ番号を選択します。  
OFはグループ機能オフの状態です。
4. “電源”キーを短押ししてグループ番号を決定します。

### 注意

グループ番号が違う相手が送信しても、音声は聞こえませんが受信状態になります。その時に“PTT”スイッチを押しても送信禁止音が鳴り送信できません。受信状態を示すLEDが消灯している時に送信してください。グループ番号はチャンネルごとに設定できます。



## アラーム機能

アラームを鳴らして周囲に知らせることができます。

1. “電源”キーを2回短押しした後に、“VOL+”/“VOL-”キーを押して AL を表示させます。  

2. もう一度“電源”キーを短押して決定します。
3. “サイド”スイッチを押すとスピーカーからアラームが鳴ります。  
(アラームの音量は“VOL+”/“VOL-”キーで調整できます。)
4. アラームを止めるには“VOL+”/“VOL-”以外のキーを押します。

## フラッシュライト機能

ちょっとした懐中電灯代わりや自分の位置を知らせるためなどに使用できます。

1. “電源”キーを2回短押しした後に、“VOL+”/“VOL-”キーを押して FL を表示させます。  

2. もう一度“電源”キーを短押して決定します。
3. “サイド”スイッチを押すと無線機上部のLEDが点灯します。
4. フラッシュライトを消すにはもう一度“サイド”スイッチを押します。

## モニター機能

モニター機能を使用して送信前に他の人が送信していないか聞くことができます。

1. “電源”キーを2回短押しした後に、“VOL+”/“VOL-”キーを押しで no を表示させます。
2. もう一度“電源”キーを短押して決定します。





3. “サイド”スイッチを押している間無線機はモニター状態となり、何も受信していない時はスピーカーからノイズが鳴ります。
4. モニター状態を解除するには“サイド”スイッチを離します。

## FM ラジオ機能

1. “電源”キーを2回短押しした後に、“VOL+”/“VOL-”キーを押しで **Fn** を表示させます。
2. もう一度“電源”キーを短押して決定します。
3. “サイド”スイッチを押すと FM ラジオが起動します。FM 局は自動選局になっていますが、受信しない場合や他の局へ切り替えたい場合、“電源”キーを短押しします。FM 局サーチ中は緑 LED が点滅します。
4. FM ラジオを終了するときは“サイド”スイッチを押して下さい。



注意

- FM ラジオ局の表示はできません。
- イヤフォンマイクを接続した状態で FM ラジオ機能を使用すると FM ラジオの感度が良くなりますので、より多くの放送局を選択できることがあります。

## バッテリー残量表示

バッテリー表示の4本のバーが全て点いている状態であれば、問題なく使用することが出来ます。容量が少なくなると、バーの本数が少なくなります。その際は、注意して使用して頂き早めに充電してください。このバッテリー残量表示はあくまでも目安です。





## 故障かな？と思ったら

もしも不具合が生じた場合、修理を依頼される前に下記の表により確認してください。該当する症状がない場合は、一旦バッテリーを外して再度バッテリーを装着後に電源を入れなおしてください。

| 症状                      | 原因                      | 処置                              |
|-------------------------|-------------------------|---------------------------------|
| 電源が入らない                 | 電池が消耗している               | 充電する                            |
| 音量レベルを大きくしても音が出てこない     | グループ番号が違う               | グループ番号を合わせる                     |
| 相手と通話できない               | チャンネルかグループ番号が違う         | チャンネル、グループ番号を合わせる               |
|                         | 相手との距離が離れすぎている          | 通話できる距離を目安に通話する                 |
| 送信できない                  | 受信インジケーターが点灯している        | チャンネル番号を変更するか、受信インジケーターが消えるのを待つ |
| 何も聞こえないのに受信インジケーターが点灯する | 同じチャンネルで別のグループ番号を使用している | 別のチャンネルに移動する                    |

故障やお取り扱い方法の御相談は：

お客様相談センター 042-793-7746

受付時間：10:00～12:00, 13:00～17:00

(土日祝日及び弊社休業日を除く)





## 仕様

|        |  |
|--------|--|
| 送受信周波数 | 422.050 ~ 422.175MHz (12.5kHz 間隔、11 波)<br>422.200 ~ 422.300 MHz (12.5kHz 間隔、9 波) |
| 電波形式   | F3E  |
| 送信出力   | 10 mW  |
| 受信感度   | -8dB $\mu$ V 以下 (@12dB SINAD)  |
| 低周波出力  | 500mW 以上 (@8 Ω 10% 歪)  |
| 電源電圧   | DC3.7V (専用バッテリーパック)  |
| 使用時間   | 約 20 時間<br>測定条件：付属電池満充電の状態で、低周波定格出力 300mW 時に送信 10 秒、受信 10 秒、待受け 80 秒の繰り返し動作      |
| 動作温度範囲 | -10°C ~ +55°C  |
| 寸法     | およそ 83 (高さ) x 50 (幅) x 25 (奥行き) mm   |
| 重量     | 約 95g (バッテリー込)   |
| 付属品    | バッテリー<br>充電器<br>AC アダプタ<br>ベルトクリップ<br>ネックストラップ<br>取扱説明書                          |

## オプション品

- 電池パック : NX-MINI BT
- 充電器 : NX-MINI BC
- AC アダプタ : NX-MINI AC
- ベルトクリップ : NX-MINI BL
- ネックストラップ : NX-MINI ST
- イヤホンマイク : FD-24Y





## 保証規定

本製品は、当社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したものですが、万一御購入後1年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、当社が責任を持って無償修理致します。

尚、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

- ①使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障及び損傷
- ②御購入後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
- ③火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用および、その他の天変地異などによる故障及び損傷
- ④本保証書のご提示がない場合
- ⑤本保証書の所定記載事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合
- ⑥製造番号の改変もしくは取り外した製品
- ⑦消耗部品（充電池、イヤホンマイク等）（注）

本保証は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)

（注）イヤホンマイクの保証期間は、正常な状態でのご使用中に製造上の不備に起因する故障が発生した場合、御購入後1ヵ月となります。



修理を依頼される前に、電池の充電状態及び操作方法に間違いがないか、「故障かな？と思ったら」(16ページ)を参照して、それでも異常があるときは修理依頼してください。

修理に出す前に、お客様が設定したデータをお控えください。修理内容によっては、全てのデータが削除される場合があります。

本機の不具合により通話不能などにより発生した損害、被害につきましては弊社は一切の責任を負いませんので、ご了承ください。

### ■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。

保証書の記載内容に基づいて修理させて頂きます。

### ■保証期間が過ぎているときは：

お買い求めの販売店にご相談ください。

修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有償で修理させて頂きます。





## 品質保証書

本製品は、当社において厳重な品質管理のもとに検査され、それに合格したものです。万一、御購入後1年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、保証規定に沿って、当社が責任を持って無償修理致します。

修理の際には、本製品をご購入いただいた販売店に、必ず本保証書をご持参のうえご依頼ください。本保証書のご提示がない場合には全額有償となりますので、本保証書は大切に保存してください。本製品は持込修理となります。

本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

### 【お客様へのお願い】

お手数ですがご住所、お名前、電話番号をご記入ください。

### 【ご販売店様へ】

お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、本保証書をお客様にお渡しください。

|      |                        |       |       |
|------|------------------------|-------|-------|
| 商品名  | 特定小電力トランシーバー NX-MINI   |       |       |
| 保証期間 | 1年間                    | 購入年月日 | 年 月 日 |
| お客様  | ご住所<br><br>TEL:<br>お名前 |       |       |
| 販売店  | 住所<br><br>店名           |       |       |
| 印    |                        |       |       |





---

株式会社 エフ・アール・シー  
〒 194-0035 東京都町田市忠生 4-11-8  
<http://www.frc-net.co.jp>

**F.R.C. CO., LTD.**



4-135-001

Printed in China

